検討会議委員　　様

検討会議終了に当たってのお願い

2020年2月27日

あきる野市武蔵引田駅北口土地区画整理事業の「見直しに関する検討会議」の傍聴席で貴重なご意見を拝聴させて貰っています、私は、村木英幸あきる野市長の後援会である　　の一員で、村木市長の公約である本件区画整理事業の見直しに賛同し支援した者です、その立場で検討会議の進展を見ていると、今のところ検討会議の会の結論ととて「見直しは困難」との雰囲気が漂っています。

「見直しは困難」の誘因は、検討会議に提供した資料の市の作成姿勢に大きな要因があるものと考えています。

昨年（２０１９）１０月まで区画整理事業の推進に関わってきた職員が、１０月の市長選出選挙で見直しを公約とした市長が誕生したからと言って、急に１８０度も異なる事業見直しに舵を切る柔軟性がないとしてもやむを得ない面もありますし、新市長も、就任から日が浅く職員の人心掌握が未だしの状態で、検討会議委員の皆さんには内部事情を曝け出す恥ずかしいお話ですが、この状況が、区画整理担当職員の見直しに消極的な資料作成に繋がって居たと考えます、第１回目の提供資料は検討に値しない資料で、委員の皆様からのご指摘を受け作成した第２回目の資料でも、見直しを心待ちしていた私の見立てでは、見直しに消極的な資料にしか見えません。

私が、第２回目の資料を読んで市に質問や要望の形で提出している文書（市長への手紙）を、ご参考まで添付致します。

これはほんの一部ですが、今後は、新市長を支援して来た　　としては、個々の見直し事案につき、課題の正確な把握や施行者との見解の相違点の調整を行う必要がありす、従って、　　様には上記事情にご配慮いただき、検討会議の纏めの段階で「見直しは困難」とする思いはあるとしても、市としては、見直しについて地権者や市民の理解を得る努力を重ねる必要があると読み取れる内容の意見を加えて頂ければ幸いです、宜しくご高配下さい。

以上